

## 第 16 回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時	平成 31 年 1 月 30 日（水） 午前 10 時～午前 11 時 15 分
場 所	保健センター 3 階 集団指導室
出席者	磯崎委員長、仲野副委員長、豊田委員、西野委員、服部委員、城戸委員、久保委員、柴田委員、伏井委員、柳川委員、関口委員、山形委員
欠席者	楠本委員、阪辻委員、矢倉委員
事務局	清水副村長 総務課：中野課長 人事財政課：菊井課長 地域戦略室：上島理事（兼室長）、幸課長、木ノ本主査、瓦谷主査 ※基本設計担当 榊徳岡設計（3 名）
傍聴者	1 名
会議概要	開会 1. 議事 （1）庁舎建設特別委員会と住民説明会の開催状況について （2）基本設計（修正案）について （3）その他 閉会

### 【議事要旨】

#### 1. 議事

- ※事務局より（1）庁舎建設特別委員会と住民説明会の開催状況について  
（2）基本設計（修正案）

についての説明を行い、委員から次の通り意見等がありました。

（柳川委員）

アプローチ道路幅は 6 メートルだが歩道を取ると、対面の場合要求される 5.5 メートルを確保できないのではないかと。

（瓦谷主査）

車道と歩道を段差等で分けるのではなく、路面仕上げを変えることで歩行者優先の通路部分とし、車両の乗り入れもあると考える。詳細は今後実施設計の中で十分検討していく。

（柳川委員）

車の通行幅確保と歩行者の安全の両面から検討し、安全に十分配慮して検討されたい。ワンスパン建築だが、構造はどうなるのか。懸念するのは一本柱が壊れると全体が壊れて

しまう。ゆとりをみて余分目にやっていただきたい。

(瓦谷主査)

構造は鉄骨造か鉄筋コンクリート造か未定である。今後検討していく。

(西野委員)

委員の皆さんは社会福祉協議会（以下、社協）の仕事、村民との関わりを認識されているか。されているのであれば、議会を小さくしてでも新庁舎に入れて欲しいところである。

それが無理でも、組織は別でも行政と近い所に事務局を作るべきではないか。

(柴田委員)

議会の特別委員会で「村から社協に対してはつきり説明すること」とあるが、されたのか。

(清水副村長)

昨年より社協理事会、評議委員会で4度に亘って議論させていただいた。新庁舎に入居してもらうスペースはなく、4階建てにするなどして面積を増やせば事業費も跳ね上がり財政面、将来の人口減少予測の面からも拡張は困難である。

保健センターに社協が戻ってくる話もいただいたが、H32年度の認定こども園開設に併せて、子育て支援の拠点施設として活用を予定しており、それもできない。

そこで、野外活動センターへの移転を村から提案させていただいた。

(西野委員)

野外活動センターのまわりは災害時危険ではないかと懸念している。社協職員、民生委員、福祉委員、ボランティアの安全も確保しなければならない。

(柴田委員)

野外活動センターは安全ではないのか。現存施設で場所を確保できないのか。

(清水副村長)

村内は急傾斜地が多い。役場庁舎の裏も傾斜地である。

(磯崎委員長)

西野委員のご意見はよくわかるが、今回は限られたスペース、予算での建設である。ご意見は将来的な事案として前向きな検討をされたい。

(清水副村長)

村には開発できる土地が少ない。引き続き前向きに議論していきたい。

(仲野副委員長)

屋外の非常階段が無い。職員の安全確保の観点からいかがか。

(西野委員)

屋内階段をひとつにして屋外非常階段にした方がスペースも広いのではないか。

(幸課長)

今回のプランは屋内2か所の階段で建築基準法に適応させている。

(仲野副委員長)

法律は変わる。富田林からはしご車が来るのでは間に合わない。職員の生命が守れないの

ではないか。

(伏井委員)

非常用脱出装置などの設置も考えられるのでは。

(柳川委員)

避難だけをとるなら屋外階段が安全。屋内に設けるなら階段に前室を設けるとより安全。デザイン的にはどうか。大事な議論である。

(久保委員)

建築基準法は、人命を最優先に作られている。世界的にも高度で厳しい。これに消防法の規定もある。また完成後も様々な検査をしていく。

屋外の非常階段は、安全性は良いが設置面に窓をつけられないなど制約がある。

屋内 2 方向避難の階段設置と必要に応じて避難設備を設ける今のこの形がベストではないか。

(磯崎委員長)

屋内の両端に階段を設置する現在の案をベースに、避難設備の設置については実施設計の段階で検討されたい。

2 階 3 階に設けられた打合せコーナーはもう少し広げられないか。

(瓦谷主査)

両側が耐震壁であり、コストの面からも難しい。

(幸課長)

住民が一人二人で来られた時を想定している。調整していく。

(豊田委員)

プレハブのところに消防車両を置いていたのはどうなるのか。

(中野課長)

現在、石材店向かい側の防災倉庫に置いている。今後もその状態である。

(伏井委員)

住民説明会で職員の休憩スペースが無いことに触れているが、来年度、近くに認定子ども園も新設される。女性が活躍する社会の流れであるが、女性職員の休憩スペースは考えていないか。

(幸課長)

必要性については庁内でも議論したい。新たに専用の部屋を設けるスペースはないので、必要であれば昼休みに使用しない部屋を使うなど運用面での検討をしていく。

(城戸委員)

駐車スペース北側、破線で斜線が引かれているのは何か？転用の予定がないのであれば駐車場としておいてはどうか。

(清水副村長)

駐車場でご理解いただきたい。図面を訂正する。

(久保委員)

耐震性能の重要度係数はいくらか。また、非常用発電は何時間を想定しているか。

(瓦谷主査)

重要度係数は1.5、非常用発電は72時間で想定している。

(久保委員)

その想定であれば優秀な値だ。一方で発電機用のオイルタンクは一定量を超えると法的に管理が大変なので、非常用発電でまかなう電源の範囲については今後、慎重な検討が必要だろう。

雨水の処理について、高所からの流れ込みや出水はないか。昨今、公共施設には貯留槽等の雨水の処理施設の設置事例もあるが今回は無い。排水関係の問題の無いようにしていただきたい。

(柴田委員)

非常用自家発電機について。前回1台で72時間と聞いていたが、今回2台に増やしても72時間か。

(幸課長)

前は屋上に1台設置し、もう1台は1階など場所を検討中で未定であったが、今回は2台とも屋上に設置するという計画である。全体で台数を増やした訳ではない。

(柴田委員)

1階の住民が出入りするスペースには、玄関、通用口など3カ所出入口があるが、警備員はどのような警備体制か。

(幸課長)

休日と夜間である。

(柴田委員)

開庁時はないということか。不審者の対応などはどうするか。

(幸課長)

通用口、2階への進入の制限など、セキュリティ面は今後検討していく。

(柴田委員)

多目的トイレにはおむつの交換台は設置するか。

期日前投票に使う部屋は検討されているか。

(幸課長)

おむつの交換台は図面に描かれている場所で、設置していく。

(中野課長)

期日前投票は2階の会議室でと考えている。

(磯崎委員長)

村議員である委員の方からは、全般的にどうか。

(山形委員)

皆さんの意見をいただき7日に議会で意見交換をおこなう。議会としてはこの設計通りにスペースをいただいて運営したい。

(関口委員)

今後、この形で進めていただけるようお願いしている。

(柳川委員)

避難に関して。例えば屋内階段に前室を設ける、張り出したところに避難ハッチを設ける、バルコニーを作る、など様々な対策は考えられる。予算、デザインなど鑑み検討されたい。

(磯崎委員長)

他にはよろしいか。

では、今回の基本設計修正案をベースに、本日の意見も加味しながら今後の実施設計を進めることとする。

(幸課長)

次回開催日程は現時点では未定であるが、議題の整理など整えて、時期が決まれば早めにご案内させていただきたい。

以上